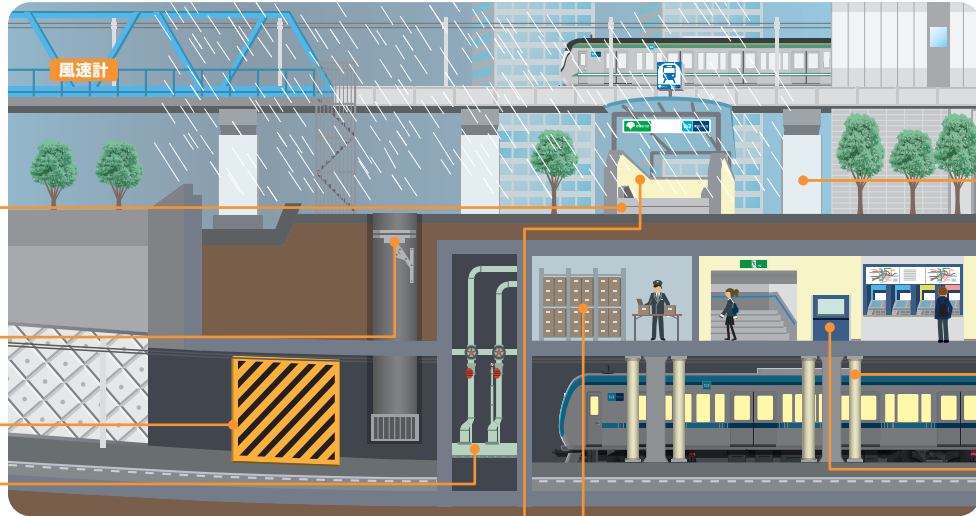


災害からまもる

地震や水害などの災害発生時の対応、お客様の安全をまもる取組みについて紹介します。



風水害への備え

局地的な大雨に対しては、精度の高い情報を短時間で入手するため、気象情報オンラインシステムが導入されています。また、橋梁などに風速計が設置され、規定の風速を超えた場合は、一時運転の見合わせや運転休止が実施されます。



警報/風速表示器

浸水を防ぐ設備

1. 止水板、防水扉

浸水のおそれがある駅の出入口には、止水板を設置することができるようになっています。標高の低い隅田川に沿った地域やその付近では、出入口を完全に密封する防水扉が整備されています。



止水板

2. 浸水防止機

路上にある換気口からの浸水を防ぐため、降雨感知器により作動する浸水防止機が設置されています。



浸水防止機

3. 防水ゲート

トンネルの坑口や要所へ、浸水を防ぐ防水ゲートが設置されています。



防水ゲート

4. 排水ポンプ

地下にたまった雨水や地下水を常時自動的にくみ上げて、許可を受けた河川や下水道などに流すため、排水ポンプが設置されています。



渋谷川への放流

お客様の安全確保

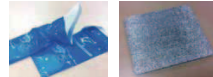
日頃から水害発生時の行動に役立てるために、出入口に海拔が表示されています。また、災害発生時は、改札口ディスプレイで気象情報や運行情報が放映され、危険が高まった場合は、事前に計画された避難誘導が行われます。



出入口り海拔表示

帰宅困難者対策

2011(平成23)年3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、帰宅困難者対策として、駅に飲料水・簡易ブランケット・簡易マット・救急用品・簡易トイレ・携帯用トイレなどが配備されています。(東京都帰宅困難者対策条例による)



携帯用トイレ、簡易マットなどを配備

トンネルや高架橋の補強

過去に起きた大震災の被害状況を踏まえて、トンネル・高架橋・地上部建物の耐震性が見直され、耐震補強工事が進められています。



耐震補強 (高架橋)



耐震補強 (トンネル内)

お客様の安全の確保、情報提供

事前に作成されたマニュアルに基づき、お客様が安全に避難できる体制がとられています。また、改札口ディスプレイでは運行情報や非常災害時緊急放送が放映され、お客様に情報が提供されます。



改札口ディスプレイ

震災への備え

地震発生時には、沿線に設置された地震計から総合指令所の情報表示装置に地震警報が表示され、ただちに地震の大きさに応じた運転規制が行われます。また、気象庁から発信される緊急地震速報を活用した早期地震警報システムが運用されています。

地震発生時の対策

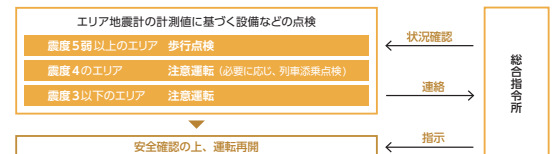
地震が発生した際は、電車内のお客様に安全な行動をとってもらうため、安全のための冊子などを配っています。また、電車は、震度に応じて緊急停止などが行われます。

列車停止	地震警報装置		気象庁経由の早期地震警報
	震度4以上を予測 東京メトロ 自動的に「緊急停止」の音声が発せられ乗務員が列車を停止 都営地下鉄 指令の指示により25km/h以下の徐行運転	震度5弱以上を予測あるいは実測 東京メトロ 自動的に全線での列車を緊急停止 都営地下鉄 指令の指示により直ちに運転を中止し、前方の安全を確認しつつ25km/h以下で次駅まで運行した後、待機	震度4以上を予測 東京メトロ 自動的に「緊急停止」の音声が発せられ乗務員が列車を停止 都営地下鉄 自動的に「緊急停止」の音声が発せられ乗務員が列車を停止

出典：各社安全報告書2016

地震発生後の対応

地震がおさまった後、エリア地震計(東京メトロ36か所、都営地下鉄16か所)の震度表示に基づき、点検や注意運転などが行われます。安全が確認された後、できるだけ最寄りの駅まで運転し、お客様への避難誘導が行われます。



出典：各社安全報告書2016